

報告・協議7

特別支援学校における技能検定の実施状況等について

このことについて、別紙のとおり報告します。

平成29年4月14日

広島県教育委員会教育長 下崎 邦明

特別支援学校における技能検定の実施状況等について

平成 29 年 4 月 14 日
特別支援教育課

1 技能検定の実施状況

(1) 趣旨

特別支援学校高等部に通う知的障害のある生徒の就労を支援するため、学校や関係企業団体（※）と連携して本県独自で開発した認定資格に基づく5分野の「技能検定」（実技）を、上期、下期で計10回実施し、審査員の評価により、1級から10級までの区分で級を認定した。

※関係企業団体（公社）広島ビルメンテナンス協会、（一社）日本ホテル・レストランサービス技能協会
広島県スーパーマーケット協会、（公社）日本メディカル給食協会

(2) 受検者数、級認定者数の状況

平成28年度特別支援学校技能検定の受検状況は、表1のとおり。ワープロ技能検定以外の分野は、昨年度に比べ受検者数が増加した。また、平成28年度は、検定会場が遠方で受検が困難な生徒に配慮して庄原特別支援学校を会場とするサテライト会場で技能検定を実施し、2分野で延べ55名受検した。

【表1】平成28年度特別支援学校技能検定受検状況

分 野	受検者数（人）			
	第1回	第2回	計	（参考）H27計
清掃	498（490）	559（554）	1,057（1,044）	928（919）
接客	81（81）	88（88）	169（169）	141（139）
ワープロ	125（125）	156（156）	281（281）	309（309）
流通・物流	158（147）	156（144）	314（291）	259（251）
食品加工	101（94）	146（141）	247（235）	222（210）
合計			2,068（2,020）	1,859（1,828）

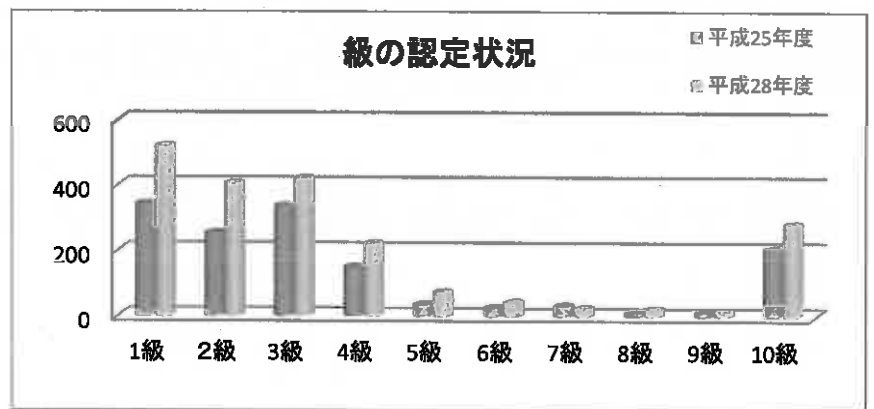
※人数は延べ人数、（ ）内の数は級認定者数。

なお、平成28年度の実受検者数は5分野合計で1,380人。

(3) 認定状況

総受検者の97.9%がいずれかの級に認定されており、認定状況は1～3級と10級の2グループに大きく分かれている。

各業務に欠かせない身支度、手洗い等の段階がミスなく通過できれば、高い水準で作業を遂行できる生徒が多い。



【図】5分野11種目で認定した各級の合計の比較

※5分野の実施が上期、下期2回ずつの計10回/年の実施となった平成25年度と平成28年度を比較した。

(4) 合理的配慮について

知的障害と視覚障害、聴覚障害又は肢体不自由等を併せ有する受検者に対して、本人からの事前の申し出に基づいて技能検定の本質的な目的から外れない範囲で合理的配慮を提供した。今年度では、筋力の弱い受検者が清掃技能検定テーブル拭きを受検した際に、水の入ったパケツの持ち上げを本人の合図で係員が代わって行うようにした事例等がある。

2 他の就職支援の状況

(1) 「特別支援学校就職サポート隊ひろしま」登録企業の表彰

平成 28 年 12 月 4 日の「ヒューマンフェスタひろしま 2016」において、職場見学や職場実習等の受入れや雇用等によって、生徒の働く力の育成や就労促進に著しく貢献した企業として、株式会社フレスタを表彰するとともに、特別支援学校高等部生徒が就職に向けた取組について発表を行った。



(2) 各特別支援学校の特色ある取組の情報発信

知的障害特別支援学校の特色ある取組を情報発信するため、各特別支援学校では、地域の企業等を招き、「企業の参観日」（各校により名称は異なる）を実施した（H27：知的特別支援学校 9 校 1 分教室，H28：12 校 1 分校 1 分教室）。平成 28 年度は、延べ 339 社 32 事業所の企業等から、520 名の参加があり、生徒が受付や会場案内を行ったり、職場実習の報告や技能検定の実演を行ったりした。人事担当者からは「卒業してからの社会生活、職業に十分に対処できると感心しました。」等の感想があり、実施後、当該校の生徒を雇用した企業が複数あった。



生徒が学校の取組を発表する様子

3 就職状況

平成 28 年度特別支援学校高等部第 3 学年の在籍者 399 人に対し、就職（就労継続支援 A 型事業所含む）希望者は 156 人である。そのうち 155 人が内定を受け、就職率（速報値）は 38.8% となった（4/1 現在）。昨年度に比べ 3.6 ポイント減少しており（一般企業への就職は▲2.1 ポイント）、その要因として、次のことが考えられる。

- ・就職を希望する生徒の割合が昨年度より低下した。
- ・就職に係るスキルをより高めるため、職業能力開発校に進路変更する生徒がいた。
- ・A 型事業所や一般企業に就職する力があるにも関わらず、保護者の意向を受けて、就労ではなく、就労移行支援事業所に進路変更する生徒がいた。

就職内定を受けた知的障害特別支援学校の生徒 143 人の内、122 人が技能検定を受検しており（受検率 85.3% 参考 H27：78%）、技能検定の取組の効果が伺われる。また、「特別支援学校サポート隊ひろしま」登録企業（平成 29 年 3 月現在 206 社登録）への内定者数は、表 3 のとおりである。

【表 2】特別支援学校高等部（専攻科除く）卒業者の就職率の推移

	平成 26 年度 (H27. 3 卒)	平成 27 年度 (H28. 3 卒)	平成 28 年度 (H29. 3 卒)
広島県	39.8%	42.4%	(38.8%)
	28.1%	31.2%	(29.1%)
全国	28.8%	29.4%	—

※広島県の上段は就労継続支援 A 型事業所の利用者を含み、下段及び全国は含まない（一般企業への就職者のみ）。

【表 3】登録企業数及び内定者数について

	登録企業数 (社) ※1	登録企業への内 定者数 (人) ※2
平成 27 年度	162	73 (40.1%)
平成 28 年度	201	71 (45.5%)

※1 H27 年度末時点及び H28. 3 月現在の登録数
※2 登録企業内定者数/各年度の就職内定者数 (%)

4 今後の計画

- (1) 特別支援学校技能検定の実施（5 分野：上期，下期各 1 回，計 10 回）及びサテライト会場による実施
- (2) 「特別支援学校就職サポート隊ひろしま」への企業登録の促進
- (3) 職業教育の充実による実践的な力の育成
- (4) 各特別支援学校の特色ある職業教育の情報発信並びに企業及び保護者への理解啓発